

医学部医学科のアウトカム

(平成28年10月12日 医学科教授会 承認)

A. 倫理とプロフェッショナリズム

1. 豊かな教養と確固たる倫理観を身につけ、利他的かつ公正な態度で行動できる。
2. 人々を尊重し、医療者・研究者として、社会に対して責任を遂行できる。
3. 医療行為・医学研究者の主体者としての自分自身の在り様に気づくことができ、自らの行為を常に見極めることができる。
4. 医療と関連する各種法令を理解し、それらを遵守することができる。
5. 同僚や後輩に対して助言や指導ができる。

B. 医学知識と問題対応能力

発展し続ける基礎医学、社会医学、臨床医学、行動科学に関する以下の領域の知識を習得し、それらを根拠に基づいて診療や研究に活用することができる。

1. 遺伝、発生
2. 正常構造、機能、代謝
3. 心理、行動
4. 成長・発達、加齢、死
5. 発病機構、病態
6. 診断、治療
7. 公衆衛生・疫学
8. 地域医療・福祉・介護
9. 医療安全管理
10. 感染対策
11. 医療情報管理・個人情報保護

C. 診療の実践と医療の質向上

日々の診療において以下を継続的に実践し、医療の質向上をめざす。

1. 患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実践できる。
2. 患者の病歴聴取を正確に実施できる。
3. 患者の身体診察を適切に実施できる。
4. 基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。
5. 臨床推論によつて的確な鑑別疾患を挙げることができる。
6. 診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈することができる。
7. 適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。
8. インフォームドコンセントや患者教育に参加できる。
9. 自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。
10. 自らが担当する患者についてプレゼンテーションができる。
11. 医療安全や感染対策を適切に実施できる。
12. 関連情報を分析し、EBMを実践することができる。

D. コミュニケーションとチーム医療

1. 患者や患者家族の言葉を傾聴し、理解や共感、支持的態度を示すことにより、良好な信頼関係を築くことができる。
2. ICTも有効に活用し、病状・治療方針などを明確に患者や患者家族に伝えることができる。
3. 医療チームのスタッフと良好な関係を築くことができる。
4. リーダーシップを発揮しつつ、多職種間連携を円滑に行うことができる。

E. 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢

1. 知識、技能、態度の向上を目指し、自己主導型学習を行うことができる。
2. 他の医療者と共に医学・医療の進歩に関心を持ち、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。

F. 地域医療への貢献

1. 保険制度をはじめとした医療提供体制（救急医療や在宅医療を含む）について説明できる。
2. 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説明できる。
3. 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。
4. 地域医療に積極的に参加できる。
5. 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。
6. 災害医療に積極的に参加できる。

G. 科学的探求心と国際的視野

1. 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することができる。
2. 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。
3. 実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。
4. ICTを活用して、英語により必要な医学情報を得ることができる。
5. 医療の発展のために、得られた研究成果を世界に情報発信することができる。
6. 科学的思考に基づいた批判・討論ができる。
7. 国際的視野に立って医学・医療に関する課題について、考察することができる。
8. 医療活動を通じた国際協力に関心を示し、参加することができる。